

## 解答

一

問一 ア しゅ イ しょくりん ウ きゅうしゅう エ あたた〔か〕 オ かんめい

問二 あ 生態 い 連帯 う 歯車 え 発揮 お 単純

問三 すぎない。

問四 多くの種が

問五 第一の自然と、第二の自然を統一して、他者との共存の中で生きる（こと）

問六 A 自然的存在 B 自然 C 外界 D 交流

問七 イ

問八 ⑦ アメニティ ⑨ 「悲しい」

問九 カネというひとつの価値だけに支配されること

問十 日本では、技術や生産力の価値があまりに支配的になってしまっているため

問十一 A 生産 B 第二の自然 C 表現形式 D 第一の自然 E 客観的

問十二 X エ Y オ Z イ

問十三 イ

問十四 A ア B エ

二

ア 発生 イ 想定外 ウ 防災 エ 予知 オ 不断

## 解説

一

問七 ——線部④を含む一文に、「外の自然と交流しあう、情緒的で、感覚的な、あるいは食欲や性欲という生命

力の表現をはじめとする身体的な、」という記述があるので、ふさわしくないものは選択肢イであることがわかります。

問十 ——線部⑥を含む段落で、アメニティとは、あるべきところに、あるべきものがある、ということだと説明し、「日本では、技術や生産力の価値があまりに支配的になってしまっているため」、「あるべきもの」も「あるべきところ」も、わからなくなっていると理由を述べています。

二

問七 ア 地震が起こったことを説明する言葉が入るので「発生」が適切です。

イ 「巨大地震」という語を含む「そんな中で」で始まる一文から「想定外」が入ります。

ウ 「大災害が起きると個々の防災意識はいつとき高まる。しかし、いつしか走るのをやめてしまう人も少なくなはない。」の部分から「防災」が入ります。

エ 最後の段落の「地震の予知は『見果てぬ夢』らしい。」という記述から「予知」が適切です。

オ 最後の段落の「不意の地震に不断の用意」から「不断」があてはまります。